



令和5年度 学校経営・運営ビジョン

第7次福島県総合教育計画 【福島県で育成したい人間像】

急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし対話と協働を通して、社会や地域を創造できる人

いわきの学校教育ABCプラン ～次代のいわきを担う、「生きる力」を身につけた子どもの育成～

【学校教育の約束】
夢に向かってチャレンジする子どもを育みます

期待される学校生活像

なか（仲）よく

○思いやりの気持ちを持ち行動する

こんき（根気）よく

○能力の向上にじっくりと取り組む

さんか（参加）する

○何事も自主的に取り組む

花と緑の勿来第三小学校

教育目標

- よく考え、自分から進んで学習する子ども
- みんなと仲良く、助け合える子ども
- じょうぶな体で、ねばり強い子ども

期待される教職員像

- ◎心身共に健康で意欲的な教職員
- ◎使命感をもち、子どもと地域を愛する教職員
- ◎変化する教育情勢に対応できる教職員
- ◎共に学び合い研修に励む教職員
- ◎組織への参画意識をもつ教職員

【重点目標】積極的に関わり合いながら、自ら考え、判断し、表現する児童の育成

教育目標の具現に向けた取組（小規模校であることを強みにした学校教育）

確かな学力を身につかせます。

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - ・基礎・基本の確実な習得
 - ・学習方略、非認知能力の伸長
 - ・教科特有の見方・考え方の育成
 - ・互見授業や研究授業の推進
- 複式指導の充実
 - ・ICTの効果的活用
 - ・探究的な学習や体験活動の充実
 - ・他校との交流学习の実施
 - ・弾力的な指導体制の工夫
- 授業以外の学習活動等の充実
 - ・清心タイム（朝の学習）の充実
 - ・読書タイムや読み聞かせを通じた読書活動の推進
 - ・家庭学習スタンダードを活用した家庭学習の充実
 - ・家庭との連携を図った望ましい生活習慣の確立

個性を伸ばし、豊かな人間性・社会性を育てます。

- 豊かな心を育む教育の推進
 - ・「考え・議論する道徳科」を核とした道徳教育の充実
 - ・進んであいさつができる児童の育成
 - ・異学年交流活動、体験活動の充実
 - ・人権教育の推進
 - ・インクルーシブ教育の充実
- 積極的な生徒指導の展開
 - ・児童理解機能の充実（定期的な教育相談・アンケート、ケース会議等の実施）
 - ・「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめの根絶
 - ・関係機関との連携（SC, SSW等）
- キャリア教育の推進
 - ・チャレンジノートの効果的活用
 - ・自己肯定感・有用感を高める指導（事前指導の徹底による成功体験、積極的な称賛と励まし）

たくましく生きるための健康と体力を育みます。

- 体力・運動能力の向上
 - ・体育科での運動量の確保
 - ・カンタム（業間運動）の実施
 - ・チャレンジ600の継続実施
 - ・遊びを通じた体力づくり
- 健康の保持・増進
 - ・養護教諭を核とした保健指導の推進（う歯、近視、肥満、薬物、性、ゲーム・ネット依存等）
 - ・食育の充実（栄養教諭との連携）
 - ・フッ化物洗口の実施
 - ・家庭への啓発（保健日より等）
- 安全教育・安全指導の徹底
 - ・交通事故防止（交通安全母の会・見守り隊との連携、交通教室）
 - ・危険回避能力の育成（避難訓練、防犯教室、安全・防災指導）
 - ・感染症予防対策の徹底

教育の基盤

勿来方部小中学校等との連携・協力の推進

- 方部連携（勿来・田人・遠野方部）「勿来方部生活のきまり」をもとにした生徒指導の充実
- 中学校区連携（勿来一小・一中）情報交換と手段の共有
- 小・中連携（勿来一中）9年スパンの「学びの習慣」形成
- 幼保・小連携（みそら保育園等）小1プロブレムの解消

学年（学級）経営の改善・充実

- 学年はじめの学級づくり
- 児童の人格尊重
- 正しい言語環境
- 考えさせる注意・指導への転換
- 率先垂範・凡事徹底
- 児童と教師、児童相互の望ましい人間関係構築（QUテストの有効活用）

家庭や地域との連携・協力の推進

- 地域と共にある学校づくり（双方向的な協働）
- 保護者から信頼される学校づくり
- 家庭との連携 規範意識・礼儀・人間関係力の育成
- 地域の教育資源の活用
- 積極的な情報発信（学校ホームページ、学校だより等）
- コミュニティ・スクールの基盤づくり